



日本風景街道コミュニティ設立総会（準備会） 開催報告

日本風景街道に参加する活動団体の連携促進等を目的にした

「日本風景街道コミュニティ（英語名：Scenic Byway Community Japan）」の設立を目指し、設立総会（準備会）が平成23年5月27日（金）午後3時から筑波大学で開催されました。「日本風景街道コミュニティ」は日本風景街道に参加する活動団体間の連携や活動の促進を行うほか、地域、活動団体、市民及び地域ボランティアが日本風景街道に関わる地域情報を国内外に発信する案内人（コンシェルジュ）をつとめる活動の支援を行う予定です。

今回の設立総会（準備会）では、北海道、岩手、東京、静岡、島根、宮崎などから有志が集まり、定款や役員、各種事業、スケジュール等について検討を行い、平成23年12月の法人化を目指し、各種手続きを進めることも確認されました。また、日本風景街道コミュニティの代表理事は筑波大学の石田東生先生、事務局長は富士通総研の白井純子氏が務める予定となり、今後は、NPO法人化の手続きを進めつつ、メーリングによる情報共有やニュースレターの発行、ウェブサイトの立ち上げ、会員・賛助会員の募集等の取り組みを実施する予定です。

第2部では各地域の活動報告として、北海道からは「シーニックバイウェイ北海道」の活動報告ほか、中間支援組織であるシーニックバイウェイ支援センターの取り組み、宮崎の「日南きらめきライン」からは、九州全体の動向や、昨年度実施した「日本風景街道大学」の報告、島根からは、宍道湖中海周辺をエリ



アとして活動する「人間文化の原風景 ご縁をつなぐ神仏のかよい路」の活動と、島根県の行政としての取り組みについて報告がありました。最後には国土交通省道路局環境安全課から、全国の日本風景街道の全体的な動向と、各地で実施されている先進的な事例やユニークな取組みのが紹介されました。これらの報告された資料は、近々、立ち上がる予定のウェブサイトで公開します。

「日本風景街道コミュニティ」は、身の丈にあった活動を着実に実施しながら、全国の日本風景街道が緩やかにネットワーク化することを支援します。今回の設立総会（準備会）では、北海道、岩手、東京、静岡、島根、宮崎の6地域が集まり、それぞれの活動や情報共有をスタートしました。今後は、「この指とまれ」方式で、少しずつ全国に輪を広げていきたいと考えています。

